

## 令和2年度 新入職員歓迎式理事長訓示(令和2年4月1日)

○理事長の児玉です。

○本日、夢と希望に満ちた前途有望な皆さんを、原子力機構の新しい仲間として迎えられたことは、大きな喜びです。役職員一同、お祝いを申し上げますとともに、心より皆さんを歓迎いたします。

本来であれば、新入職員の皆さんが一堂に会した場で歓迎式を開催するところではありますが、今年は、新型コロナウイルス対策として、皆さんにはそれぞれの配属拠点に分散していただき、テレビを通じての歓迎式といたしました。皆さん全員の顔を直接見ることができないのは大変残念ではありますが、新入職員歓迎式にあたり、わたくしから、皆さんへの期待と、職員として心に刻んでいただきたいことを申し述べます。

○本日、皆さんは、それぞれに喜びと不安が入り混じった気持ちで、それぞれの場におられると思います。皆さんを受け入れるそれぞれの配属先では、計り知れない可能性を秘めた新戦力である皆さんの着任を、大きな期待をもって待っています。

○さて、わが国唯一の原子力に関する総合的な研究開発機関である原子力機構には、皆さんにとってやりがいのある数多くの研究開発や技術開発のテーマ、さまざまな業務があります。皆さんの新しい発想、エネルギーで積極的に取り組んでもらえることを期待しています。

○原子力機構は、独立行政法人の中でも研究開発に特化した「国立研究開発法人」です。

その第一の目的は、「研究開発成果の最大化」であり、一定の自主性が認められる代わりに、適切な目標設定と評価を通して、「適正、効果的かつ効率的な業務運営の確保」、「課題解決などのアウトカムの創出」、「国民に対する説明責任」が求められています。

○こうした目的に沿って、わたしたちは、研究開発成果の創出はもちろんのこと、国際競争力を強化しながら、さまざまな政策的な課題を解決し、わが国

の科学技術の水準の向上に貢献していくという使命をもっています。

○原子力機構が重点的に取り組んでいる分野としては、

- ・東京電力福島第一原子力発電所事故への対応
  - ・原子力の安全性向上のための研究開発
  - ・高速炉・新型炉および核燃料サイクルの研究開発
  - ・放射性廃棄物の処理・処分技術開発
  - ・原子力施設の廃止措置
- などが挙げられます。

さらに、これらの共通基盤にもなる、

- ・原子力の基礎・基盤研究、
- も欠かすことができません。

また、これらをサポートする管理業務なども重要です。

原子力機構は、これらの課題解決や業務に責任をもって取り組んでいます。

○こうした課題解決や業務に取り組んでいくうえで、原子力機構の一員となる皆さんに、二つのことを申し上げたいと思います。

○まず、ひとつ目は、原子力機構のミッションである「原子力科学技術を通じて、人類社会の福祉と繁栄に貢献する」ことを心に刻んで職務に取り組んでほしいということです。

○今後、皆さんには、さまざまな業務が待っています。その業務ひとつひとつが、この「原子力科学技術を通じて、人類社会の福祉と繁栄に貢献する」ことにつながっていることを意識してください。

わたしたちは、この使命を果たすために、全職員が共有すべき信条として「高い志、豊かな発想、強い意志」という三つのスローガンをかかげています。

夢や希望を持って今日を迎えられた皆さん一人ひとりが、この「高い志、豊かな発想、強い意志」をもって事に臨むことで、必ずや夢や希望は達成できるものと確信しています。

○ミッションを達成するためには、組織としての知的能力、組織IQを高めることも必要です。

皆さんには、組織内外の情報を迅速に取り入れ、組織の中で適切に情報共有することで、実行可能な意思決定を行えるよう、果敢に取り組んでいくこ

とを期待します。

○二つ目は、今の気持ちを忘れることなく、社会人として、原子力のプロとして、チャレンジし続けてほしいということです。

○原子力機構では、昨年秋、何を目指し、何をすべきかという将来像をまとめた「将来ビジョン JAEA 2050 +」を策定しました。

これは、将来の気候変動問題の解決、エネルギーの安定確保、未来社会 Society5.0 の実現に向けて、これまでに培った技術やノウハウを積極的に活用し、皆さんとともにアグレッシブに取り組んでいく『新原子力』の取組によって社会への貢献を目指すという、将来の原子力機構の目指すべき方向性を示したものです。

○わたしたちは、研究開発機関として、福島第一原子力発電所の事故の反省のうえに立って、原子力安全の価値を再認識し、変わっていかねばならないと考えています。

原子力機構で働こうと決めた皆さんの心強い決意、今の気持ちを忘れることなく、新たな分野にも果敢に挑戦し続けてほしいと思っています。

○わたしたちの仕事を進めるうえでは、とくに周囲からの信用が第一です。信用のない者に仕事を任せることはできません。

「築城三年、落城一日」といわれるように、信用を築き上げるのには時間がかかりますが、失う時はほんの一瞬です。

皆さんには、そのことをしっかりと肝に銘じて、日々、信用を積み重ねられるよう、誠実に職務にあたってほしいと思います。

○最後に、皆さんは、原子力機構の将来を担う職員として、内外から、大きな期待と注目を浴びています。

そのことを十分に認識し、社会人としての自覚をもって、常に良識ある行動を心掛けてください。

また、何事もカラダが資本です。皆さんの持てる力を存分に発揮できるように、健康には十分注意を払いながら、職場に新たな風を吹き込んで下さい。

○皆さんのこれからの活躍を心から祈念して、わたくしからの言葉といたします。

以 上